

- 1 題 材 「〇〇な運動会を成功させるために自分の役割を考える」
（イ）社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

2 題材について

（1）児童の実態

「My Gear」を増やし高め、「Gear Change」し、最高学年に向けて「Gear up」していこうという学年目標「Gear5」のもと、Gearという言葉を含言葉のように使ってきた。今までの学習や行事の目標やふり返りに用いることで、自分やクラスの成長を感じられるようになった。また、それがみんなの Gear とかみ合うことで、一つの力になるという意識ももつことができたと考えている。

年度当初から「team イワスタ」を立ち上げ、高学年全体で学校をどのように盛り上げ、創造していくかを考える機会をもった。委員会活動は今までの枠組みを一から見直し、本当に必要な役割について考え、精選し、新しく「スタプロ」を立ち上げた。それと並行して、自分の長所やしたいことについて考え、役割を決めた。こうした流れから、しっかりと自分の果たしたい役割について認識した上で活動に参加することができた。

（2）題材設定の理由

スタプロ以外にたてわり活動や普段の生活などでも高学年としての行動が求められる機会ができた5年生にとって、運動会も例外ではなく、今までの参加の仕方とは大きく形を変える。多くの児童が運動会に意欲的で、集団演技や80m走について「がんばりたい」「楽しみたい」という気持ちをもっている。一方で、例年高学年が行ってきた運動会の係活動について意識を向ける発言はほとんどなく、学校全体を引っ張っていくという視点はまだ薄いと言える。

学校行事について進行係を担うSES（スタプロの一つ※計画委員会的な位置づけ）や6年生の学級会では、夏休み前から運動会についての話し合いを続けており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から例年通りの運動会はできないが、そんな中でもできることや、やりたいことを考えていこうという意識で取り組みを進めている。そうした意識に5年生が少しでも近づき、学校のために自分の役割を果たすという視点を新たにもてるようにしていきたい。

本時では、6年生との意識の違いへの気づきから自分の役割について考えることができるようにするために、アンケート結果を見比べ、その後、6年生の動画やその場にいる先生たちから運動会への想いを聞く活動を設定した。その上で、必要な Gear について考え、話し合い、最終的に自分の果たしたい目標や役割を決めることができるようにしたい。

3 第5学年及び第6年の評価規準「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」

観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについて、よりよく生きるための課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて自主的に行動しようとしている。

4 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
<ul style="list-style-type: none"> • 今までの運動会についてふりかえるアンケートに答える。(5・6年生) ※Teams内「We are イワキタスーパースター！」のアンケートに回答 	<ul style="list-style-type: none"> • 5年生と6年生の経験や考えを比べるために、6年生にもアンケートを実施，協力してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> • アンケートに答えることで、今までの運動会を振り返ったり、自分の役割について考えたりすることができる。【主体的な態度】〈アンケート〉

5 本時のねらい

〇〇な運動会にするため、運動会での高学年の役割を考えることを通して、自分が果たす役割について考え、その実現に向けて今後どのように活動に取り組むのかを決めることができる。

6 本時の展開

	児童の活動	○指導上の留意	資料	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
	〇〇な運動会にするために自分が磨き上げたい Gear を決めよう			
導入 つかむ ⑩	<ul style="list-style-type: none"> 前日のイワスタ（高学年集会）をふり返り、運動会に向けてのスローガンを確かめる。 5年生と6年生のアンケート結果を見比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前日までに SES からスローガンや役割を共有しておく。 ○6年生の「学校全体を盛り上げたい」という想いに気づくことができるように、5年生の想いとの違いが分かる意見を取り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> スローガンや役割が分かる資料 アンケート結果 	
展開 つなぐ ⑩	<ul style="list-style-type: none"> 6年生や先生たちの運動会への想いを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高学年として、6年生とともに運動会を創り上げる立場であることを感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 6年生からのメッセージ 6年生の担任の先生や校長先生からのお話 	
展開 見つける ⑮	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇な運動会にするためにはどのような Gear が必要かを考える。 グループで話し合い、ロイロノートでまとめる。 話し合ったことを全体で交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○何のためにその Gear が必要なのか、同じ Gear でも今までとどのようにちがうのかを考えることによって高学年としての考えを明らかにできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カード ロイロノート 	<ul style="list-style-type: none"> ◎運動会における役割を明確にし、そのために必要な力（磨き上げたい Gear）について前向きに話し合っている。【主体的態度】〈観察〉

終末 決める ⑩	・自分が磨き上げたい Gear を決める。また、そう決めた理由も考えて書く。	○ここまで自分で考えたことや話し合いで出された意見などを生かして、自分で選んだ Gear を学習カードに記入するように伝える。	・学習カード ◎話し合ったことを生かして、自分が実践することを意思決定している。【思考・判断・表現】 〈観察・学習カード〉
----------------	--	---	---

7 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
○運動会の役割（高学年の係活動）を決める。 ○活動ごとにふりかえりをし、ノートに記入する。	○自分で決めた Gear に合わせて、挑戦したい役割を選ぶことができるようにする。 ※高学年の係活動は、高学年児童が設定した係とし、担当は希望制（割当制ではない）とする。 ○学校の一員としてどのようなことができたか、自分はどのように Gear up できているかを確認められるようにする。また、それを共有し、互いに認め合うことができる機会を設定する。	◎意思決定したことを実践している。【思考・判断・表現】〈観察・学習カード〉 ◎実践を振り返り、主体的な活動に向けて生かそうとしている。【主体的な態度】〈観察・学習カード〉

8 板書計画

めあて

○○な運動会にするために自分が磨き上げたい Gear を決めよう

つかむ

アンケート結果

気づいたこと

- ・楽しみにしている人が多い
- ・みんなと協力したい
- ・6年生は仕事について考えている
- ・6年生は学校全体のことを考えている

さぐる

6年生の想い

先生たちの想い

見つける

- 楽しむ
- 協力
- 盛り上げる
- 引っ張る
- 自分で考えて行動

決める

磨き上げたい Gear を決めよう